

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 特許出願公開

⑯ 公開特許公報 (A)

昭57-119056

⑮ Int. Cl.³

E 04 F 15/04

識別記号

庁内整理番号

2101-2E

⑰ 公開 昭和57年(1982)7月24日

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 4 頁)

① 床材の一部貼替え方法

② 特 願 昭56-5347

③ 出 願 昭56(1981)1月15日

④ 発 明 者 篠原悌三

門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

⑤ 発 明 者 藤田清臣

門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

⑥ 出 願 人 松下電工株式会社

門真市大字門真1048番地

⑦ 代 理 人 弁理士 石田長七

明 細 書

1. 発明の名称

床材の一部貼替え方法

2. 特許請求の範囲

(1) 床に既設の床材の一部を除去し、除去され
た床材に隣接していた両床材の隣接側面に沿つ
て雄ざね部を切欠し、新しい床材の両側端面に沿
って設けられた凹所内に発泡性合成樹脂を注入し
この新しい床材を除去された床材のものと位置
を合わせ、この設けられた凹所内の発泡性合成樹脂を発泡
させて隣接する床材の雄ざね部に嵌合する雄ざね
を形成することを特徴とする床材の一部貼替え
法。

(2) 床材の雄ざね部及び雌ざね部を一定ピッチ
規則的な形状に形成することを特徴とする特許
請求の範囲第1項記載の床材の一部貼替え方法。

発明の詳細な説明

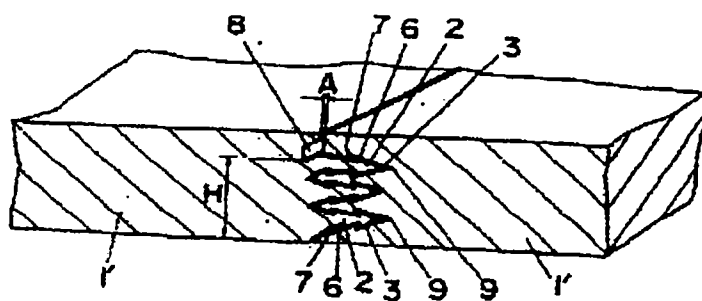
本発明は床材の一部貼替え方法に関する。

発泡性高材の床材(1)にあつては、第1図に示す

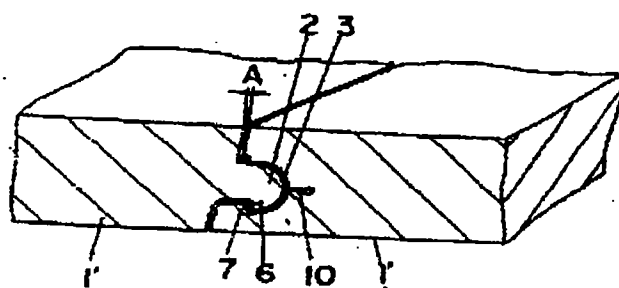
ように、両面片のこ歯状の係合部(1)を持つ雄ざね
部(2)と両内面片のこ歯状の被係止部(3)を持つ雌ざ
ね部(4)とを嵌合させることにより床材(1)間を連続
して床に敷設されており、しかも係合部(1)と被
係止部(3)とが互いに平行に密着して係合すること
により床材(1)間の隙間Aが最小になるようにして
あつた。また、雄ざね部(2)の上に設けた凹所(5)に
釘穴を設けるとによつて釘の効く厚みBを大き
くし、釘の効きを良くしてあつた。また雌ざね部
(4)の底に接着剤(6)を塗布しておいて雄ざね部(2)と
雌ざね部(4)の密着面積を大きくすると共に、床下
からの隙間風を防止してある。

また、別な発泡性高材の床材(1)'にあつては、第
2図に示すように、床材(1)'側の雄ざね部(2)と床
材(1)'他側の雌ざね部(4)とを嵌合させ、雌ざね部(4)
下面の係合部(1)と、雄ざね部(2)下面の係合部(3)
に平行な被係合部(7)とを嵌合させて床材(1)'間の隙
間Aを最小にして密着に連続してあつた。また、
雄ざね部(2)の底には切り溝を切入してあつて、
雄ざね部(2)を雌ざね部(4)に嵌合させると共に雌ざ

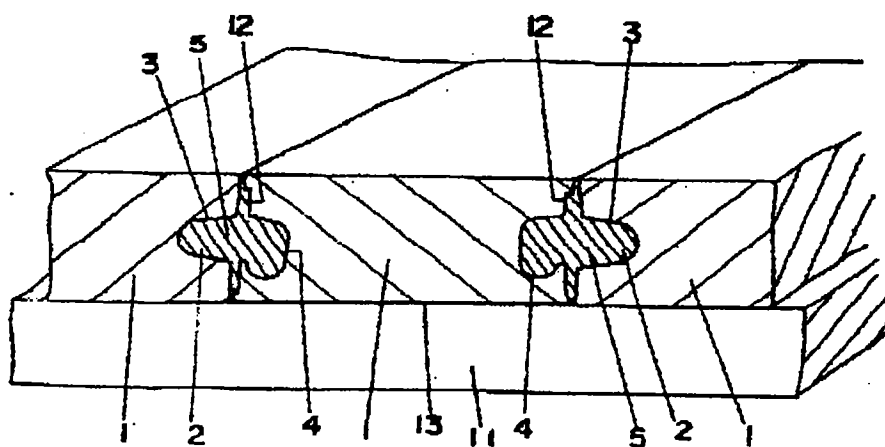
第 1 圖



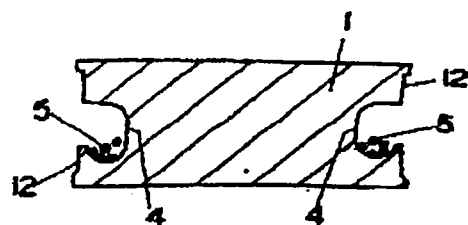
第 2 圖

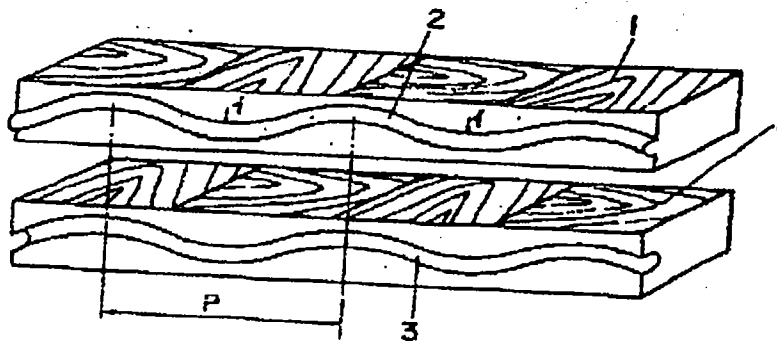


第 3 圖



第 4 圖





第 6 圖

